

設 立 趣 意

一国の繁栄興隆は、国家社会に貢献する有為な人材の育成と、学術の振興への努力に依存すること絶大であります。

世紀の大戦は国力の低下と社会道義の破壊、混乱を招き、すでに十有余年、その間、学問、政治、経済、文化の各方面に亘る回復と偏頗性の是正が叫ばれて参りましたが、わが国の現状は、未だに学業に携わる青年の十分な修業環境と、経済基盤を提供するまでにはいたらず将来をになう有為な人材の育英は依然として不十分の感を免れません。

こうした情勢の中に、教育制度は旧来の殻を破って新しく誕生し、全国に新設された大学も次第にその数を増し、一方育英事業への社会的認識も新たに、多くの育英団体の発足を見ておりますが、学術研究の興隆、振興は全国民の期待であると同時に、ひとり教育現場に職を置く人々のみならず、全国民の負う責任の一として深く理解しなければならないものであります。

われわれは平和的文化国家の一員として、わが国を世界の各国に比肩して遜色のない、また、各国に伍してその指導的役割を演じることを可能ならしめるに十分な人材の排出を念願するものである。

昭和32年11月27日

財団法人ゼネラル物産奨学会
設立者一同